

3. 工 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

| 学科 | 学科のアドミッション・ポリシー |
|-----------------------|---|
| 環境応用 化学科 | <p>1. 求める学生像</p> <p>環境応用化学科では、企業等で実践力を有する工学専門職としてグローバルに活躍できる技術者の育成を教育の目標に掲げ、学士課程を通じて以下の資質や能力を身に付けた人材の育成を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自然との共生、環境との調和および社会への貢献の視点を持ち、社会的責任感と科学的倫理観をもって物事を判断する能力 2) 産業界で技術者として活躍するために必要な工学および化学の基礎を習得し、実験や観察の結果を考察でき、問題解決に柔軟に応用する能力 3) 自主的、継続的な学習により知識や技術を高め、それらを課題の探求と解決に生かし、正しく明瞭にまとめ伝える能力 <p>そこで、環境応用化学科では、化学、化学工学および生物工学を基礎として、地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産及び循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材の育成を目的とした教育研究を行います。</p> <p>したがって、本学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 化学の知識・技術・考え方を真剣に学び、それを将来、応用化学あるいは環境・生物工学などの分野で活かしたいという情熱を持っている人（主体性） 2) 化学及び環境に関連する自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人（学問への関心） 3) 実験や観察が好きで科学現象について考え、それを表現できる人（思考力、表現力） 4) 数学、化学を含む理科及び語学の基礎学力を有し、それを身近な問題に応用できる人（知識・理解） 5) チームの一員として自分に与えられた役割を理解し、チームワークのもとで様々な問題を解決し、目的を達成することに貢献できる人（協働性） |
| | <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校で修得した基礎的な学力と環境応用化学を学習する上で重要な理数系科目、および英語の学力について、大学入試センター試験と個別学力試験によって、知識・理解および思考力を総合的に評価します。 2) A〇入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び小論文、個人面接によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および資質を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、および日本留学試験によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および日本語によるコミュニケーション能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 日本留学生試験では、知識・理解および思考力について評価します。 |
| | <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校または高等専門学校等で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学、数学および物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な内容を修得しておくことを求めます。さらに、協調性およびコミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p> |
| 社会環境 システム 工 学 科 | <p>1. 求める学生像</p> <p>社会環境システム工学科では、技術者の基礎となる能力、土木環境工学のどの分野でも活躍できるための基礎能力、社会の要請を察知・理解して適切な行動ができる、また地球的視点から多面的に物事を考える能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、社会環境システム工学科では、自然との共生が可能な社会基盤（水道、下水道、公園、橋、トンネルなど）の構築や維持補修、交通計画や都市計画、環境保全や廃棄物処理・資源化などの技術や計画に対して熱意を持って取り組み、土木・環境分野および社会的課題に関する興味学問への関心を有し、自然科学の基礎学力に関する知識・理解と日本語と英語を基礎とした表現力を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる積極的に自己学習できる主体性をもった人材を求めています。</p> |

| 学科 | 学科のアドミッション・ポリシー |
|---|---|
| 社会環境システム工学科 | 2. 入学者選抜の基本方針 |
| | <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書では、表現力、学問への関心について評価します。 活動報告書では、表現力、主体性について評価します。 筆記試験では、知識・理解、思考力について評価します。 集団討論では、主体性、協働性について評価します。 個人面接では、表現力、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> |
| | 3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。 |
| 環境ロボティクス学科 | 1. 求める学生像 |
| | <p>環境ロボティクス学科では、技術者としての倫理観、問題解決能力、専門分野で通用するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、環境ロボティクス学科では、機械・電気電子・化学およびコンピュータ等の先端技術に関連する分野、ならびにロボット、介護・福祉機器、環境制御などの設計開発と生活環境や自然環境の改善に関連する学問への関心がある人材を求めています。</p> <p>また、実験や観察において深く考察する思考力と、その結果の表現力、数学、理科、英語に関する知識・理解、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる主体性がある人材を求めています。</p> |
| | 2. 入学者選抜の基本方針 |
| <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 筆記試験では、知識・理解と思考力を評価します。 集団討論では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうか、グループ内で意見集約できるかどうかを調査します。それによって、協働性を評価します。 個人面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> | |
| 3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に着けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。 | |
| 機械設計システム工学科 | 1. 求める学生像 |
| | <p>機械設計システム工学科では、機械と自然との調和を考える能力、社会秩序や環境保護に対する技術者の責務を考える能力、資源とエネルギーの有効利用を考える能力、機械工学に関連する問題解決能力と創造力、アイデアを実現できるデザイン能力およびそれを説明するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、機械設計システム工学科では「人と自然に優しいものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組み、数学及び理科の基礎的な知識・理解を有し、コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人材を求めています。</p> |
| | 2. 入学者選抜の基本方針 |
| <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎科目と理数系科目など大学の学習で必要となる学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> | |

| 学科 | 学科のアドミッション・ポリシー |
|---|--|
| 機械設計システム工学科 | <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、数学及び理科の基礎的な知識・理解について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 集団討論では、協働性を評価します。 個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接、日本留学試験及び書類審査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> |
| | <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと 数学、物理・化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、自主的・継続的に学習する能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p> |
| | 電子物理工学科 |
| <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって総合的に判断します。 調査書では、知識・理解を評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、自然科学や科学技術への関心度や学校内外の様々な学習成果や活動実績・資格等を審査します。それによって、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 筆記試験では、高等学校等で学習する内容に対する知識・理解、思考力を評価します。 集団討論では、協働性について評価します。 個人面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> | |
| <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す物理、数学、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、表現力、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p> | |
| 電気システム工学科 | <p>1. 求める学生像 電気システム工学科では、技術者にとって必要となる数学を含めた自然科学の知識、電気エネルギーおよび情報通信分野に関する専門技術と実践能力、課題探求能力、課題解決能力およびデザイン能力を有し、多様なグローバル社会の要請に応え得る能力、技術者に求められるコミュニケーション能力、技術者に求められる倫理観、課題や問題に対して、自律的、継続的に取り組むことができる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、電気システム工学科では、電気電子工学分野に対して熱意を持って取り組み、国際的な視野を有し、常に自分が何をもって社会に貢献できるかを問い続ける柔軟な考え方や数学、理科、英語などの基礎的な学力、基礎的な表現力を持つ人、また、問題解決へ向けて、自分から積極的に目標と計画を立て、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人を求めています。</p> |
| | <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目を中心に大学の学習で必要となる専門科目を理解出来る基礎学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、一般入試では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力や学習意欲が備わっている人を受け入れます。 AO入試では、科学技術に対する強い興味と学習意欲を持っていることに加えて、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び小論文、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> |

| 学科 | 学科のアドミッション・ポリシー |
|--|---|
| 電 気 システム 工 学 科 | <p>活動報告書では、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 集団討論では、協働性について評価します。 個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、技術者に必要な能力に加えて国際性や語学力、日本で研鑽する熱意、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p> |
| | <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す数学、物理など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくこと、電気システム工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることなど、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p> |
| 情 報 システム 工 学 科 | <p>1. 求める学生像</p> |
| | <p>情報システム工学科では、社会に対する責任感、問題解決能力、専門分野で通用する高度なコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、情報システム工学科では、情報科学技術を通じ、人類の幸福と社会の発展に貢献しようと熱意を持って取り組み、公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報工学の学習に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持ち、明確な目標を持って継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる情熱に溢れる人材を求めています。</p> |
| | <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> |
| | <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p> |
| <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p> | |